品質証明(SDS)

1．化学物質等及び会社情報

会社名　株式会社 創建
住所　東京都豊島区西池袋1-11-1
メトロポリタンプラザビル17F
担当部門　開発部
電話番号　03-5992-9231
FAX番号　03-5992-6423
緊急連絡先　03-5992-9231

作成　2006年6月14日
改訂　2015年8月1日
奨励用途及び使用上の制限
不燃版、各種ボード類の現場施工用接着剤。所定の用途以外には使用しないこと。

MaterialsID 148

製品名：片面塗布型速乾ボンド　W３３０

※シックハウス対策について
上記の製品はＦ☆☆☆☆です。（「１６．その他の情報」参照）

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性　：可燃性固体　区分2
自然発火性固体　区分外
自己発熱性化学品　区分外
水反応可燃性化学品　区分外
酸化性固体　区分外

健康有害性　：急性毒性(吸入:蒸気)　区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性　区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性　区分2A
生殖毒性　区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)　区分2(血管系)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)　区分3(麻酔作用　気道刺激性)
吸引性呼吸器有害性　区分外

環境有害性　：水生環境有害性(急性)　区分2
水生環境有害性(長期間)　区分2
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
絵表示

注意喚起語　：危険
危険有害性情報　：H228　可燃性固体
H315　皮膚刺激
H319　強い眼刺激
H332　吸入すると有害
H335　呼吸器への刺激のおそれ
H336　眠気又はめまいのおそれ
H361　生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H371　血管系の障害のおそれ
H411　長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き
安全対策　：熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を接地すること。アースをとること。(P240)
容器を密閉しておくこと。(P233)

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋を着用すること。(P280)
保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

応急措置 : 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P309+P311)
気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当て、診断を受けること。(P332+P313)
眼の刺激が続く場合、医師の手当て、診断を受けること。(P337+P313)
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。(P362)
火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
漏出物は回収すること。(P391)

保管 : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)
施錠して保管すること。(P405)

廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 有機溶剤中毒を起こすおそれがある。

3. 組成, 成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : クロロプレンゴム系溶剤形接着剤

成 分	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酢酸エチル	10～20%	$CH_3COOC_2H_5$	(2)-726		141-78-6
メチルシクロヘキサン	10～20%	C_7H_{14}	(3)-2230		108-87-2
シクロヘキサン	10～20%	C_6H_{12}	(3)-2233		110-82-7
アセトン	5～10%	CH_3COCH_3	(2)-542		67-64-1
ロジン	1%未満	データなし	(7)-935		8050-09-7
2,6-ジ-t-ブチル-4-メチルフェノール	1%未満	データなし	(9)-1805		128-37-0

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法57条の2、施行令第18条の2別表第9)
2, 6－ジ－ターシャリ－ブチル－4－クレゾール(政令番号:262)(5%未満)
アセトン(政令番号:17)(1～10%)
シクロヘキサン(政令番号:232)(10%～20%)
メチルシクロヘキサン(政令番号:576)(10%～20%)
ロジン(政令番号:632)(5%未満)
酢酸エチル(政令番号:177)(10%～20%)

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	:	直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと、または取り去ること。多量の水と石鹸で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	:	直ちに医師に連絡すること。水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者への保護	:	救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	:	粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、一般の泡消火剤
特有の危険有害性	:	引火性、可燃性物質。
特定の消火方法	:	ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。
消火を行う者の保護	:	消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	:	危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。 漏洩場所を換気する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	:	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。 危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策	:	すべての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所換気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	:	換気の良い場所で取り扱うこと。 眼、皮膚又は衣類に付けないこと。 取扱い後はよく手を洗いうがいをする。 火気厳禁、静電気注意。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
接触回避	:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	:	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策	:	保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質	:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件	:	保管温度:2～40℃ 日光から遮断すること。 容器を密閉して保管すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ACGIH
酢酸エチル	200ppm	200ppm(720mg/m3)	TWA 400ppm,STEL-
メチルシクロヘキサン	未設定	400ppm(1600mg/m3)	TWA 400ppm,STEL-
シクロヘキサン	未設定	150ppm(520mg/m3)	TWA 100ppm,STEL-
アセトン	500ppm	200ppm(470mg/m3)	TWA (500ppm), STEL(750ppm)
ロジン	未設定	ー	TWA2mg/3(IFV),STEL-
2,6-ジ-t-ブチル-4-メチルフェノール	未設定	ー	TWA 2mg/m3 (IFV),STEL-

設備対策 : 換気をしながらご使用下さい。
本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置した方が良い。
局所排気装置を設置する。

適切な保護具

呼吸器の保護具 : 防毒マスクには有機ガス用吸収缶を使用する。
手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 : 固体
形状 : ペースト
色 : 黄緑色

臭い : 芳香臭
pH : データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲 : 56℃以上(アセトン)
引火点 : -20℃(タグ密閉式)
燃焼又は爆発範囲

上限 : データなし
下限 : データなし

蒸気密度 : 1以上(空気=1)
比重(密度) : 約1.03 g/cm3
溶解度 : 水に不溶、有機溶剤に可溶
自然発火温度 : 260℃以上
粘度(粘性率) : 60～200 Pa・S

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性なし。
安定性 : 通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性 : 反応性なし。
避けるべき条件 : 溶剤の蒸気は空気よりも重く、地面あるいは床に沿って移動することがあり、遠距離引火の可能性がある。
混触危険物質 : 酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。
危険有害な分解生成物 : 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : 分類結果は急性毒性(経口)ー区分外となるが、分類できない成分が約40%含まれるため急性毒性(経口)ー分類できないとした。

経皮 : 分類結果は急性毒性(経皮)ー区分外となるが、分類できない成分が約40%含まれるため急性毒性(経皮)ー分類できないとした。

吸入 : 混合物の急性毒性推定値が17.629mg/lのため急性毒性(吸入:蒸気)ー区分4とした。
粉じん、ミストによる健康への有害性は判断できないため急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)ー分類できないとした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 混合物の成分の皮膚腐食性及び皮膚刺激性ー区分2の濃度合計が10%以上のため皮膚腐食性及び皮膚刺激性ー区分2とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 混合物の成分の眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性ー区分2Aの濃度合計が10%以上のため眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性ー区分2Aとした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性	：	分類結果は呼吸器感作性－区分外となるが、分類できない成分が約70%含まれるため呼吸器感作性－分類できないとした。但し、区分1の成分を0．1%以上1%未満含んでいる。 分類結果は皮膚感作性－区分外となるが、分類できない成分が約99%含まれるため皮膚感作性－分類できないとした。但し、区分1の成分を0．1%以上1%未満含んでいる。
生殖細胞変異原性	：	分類結果は生殖細胞変異原性－区分外となるが、分類できない成分が約60%含まれるため生殖細胞変異原性－分類できないとした。
発がん性	：	分類結果は発がん性－区分外となるが、分類できない成分が約80%含まれるため発がん性－分類できないとした。
生殖毒性	：	混合物の成分の生殖毒性－区分2の濃度が3%以上のため生殖毒性－区分2とした。
特定標的臓器（単回ばく露）	：	混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分3（麻酔作用）の濃度が20%以上のため特定標的臓器（単回ばく露）－区分3（麻酔作用）とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分3（気道刺激性）の濃度が20%以上のため特定標的臓器（単回ばく露）－区分3（気道刺激性）とした。 混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（血管系）の濃度が10%以上のため特定標的臓器（単回ばく露）－区分2（血管系）とした。
特定標的臓器（反復ばく露）	：	分類結果は特定標的臓器（反復ばく露）－区分外となるが、分類できない成分が約80%含まれるため特定標的臓器（反復ばく露）－区分できないとした。
吸引性呼吸器有害性	：	40℃粘動性率が20．5mm2/sより大きいため吸引性呼吸器有害性－区分外とした。

12．環境影響情報

水生環境有害性（急性）	：	混合物の成分の（毒性乗率×10×水生環境急性有害性－区分1）＋水生環境急性有害性－区分2の濃度が25%を越えるため水生環境急性有害性－区分2とした。
水生環境有害性（長期間）	：	混合物の成分の（毒性乗率×10×水生環境慢性有害性－区分1）＋水生環境慢性有害性－区分2の濃度が25%を越えるため水生環境慢性有害性－区分2とした。
生態毒性	：	情報なし
オゾン層への有害性	：	データなし
その他	：	漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

13．廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。 乾燥物は廃プラスチック類に分類される（安定型産業廃棄物）。
汚染容器及び包装	：	空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。 外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理（単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物）。 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。 ガラス容器：ガラスくずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。 プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチック類として処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。

14．輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	：	IMOの規定に従う。
UN No.	：	1325
Proper Shipping Name.	：	FLAMMABLE SOLID,ORGANIC,N.O.S.
Class	：	4.1
Packing Group	：	Ⅲ
Marine Pollutant	：	applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex ,and the IBC code	：	Not applicable
航空規制情報	：	ICAO／IATAの規定に従う。
UN No.	：	1325

Proper Shipping Name.	:	FLAMMABLE SOLID,ORGANIC,N.O.S.
Class	:	4.1
Packing Group	:	Ⅲ
国内規制		
陸上規制情報	:	消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
海上規制情報	:	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	:	1325
品名	:	その他の可燃性物質(有機物)(固体)(他の危険を有しないもの)
クラス	:	4.1
容器等級	:	Ⅲ
海洋汚染物質	:	該当
MARPOL 73/78 附属書Ⅱ 及び IBCコードによるばら積み輸送させる液体物質	:	非該当
航空規制情報	:	航空法の規定に従う。
国連番号	:	1325
品名	:	その他の可燃性物質(有機物)(固体)(他の危険を有しないもの)
クラス	:	4.1
容器等級	:	Ⅲ
特別安全対策	:	転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 『7. 取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと。
緊急時措置指針番号	:	133

15. 適用法令

労働安全衛生法	:	第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) 作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条1、施行令第18条) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表第9)
消防法	:	第2類 引火性固体
外国為替及び外国貿易法:	:	輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
船舶安全法	:	可燃性物質類・可燃性物質(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	:	可燃性物質類・可燃性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	:	危険物・可燃性物質(法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二)

16. その他の情報

ホルムアルデヒド放散等級	:	JIS A 5538(壁・天井ボード用接着剤) CE0307013 F☆☆☆☆
4VOC放散速度基準	:	日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA－401178 4VOC基準適合
※本製品(ボンドW330)にはアスベスト、トルエン、キシレン、可塑剤は含んでおりません。		
連絡先	:	『1. 化学物質等及び会社情報』に記載。
参考文献	:	JIS Z 7253-2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業所内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7252-2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス(平成21年3月) 社団法人 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン(平成20年10月) 日本ケミカルデータベース㈱SDS作成システム「ロジスト」により作成。
その他		危険有害性の評価は必ずしも充分ではないので取扱いには注意して下さい。 記載内容は、現時点で入手できる試料・情報及び試験に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂される事があります。 全ての化学製品は、未知の有害性があり得るため、取扱いには充分注意する必要があります。又、記載内容は安全性に関する情報提供であって、製品の保証書ではありません。 注意事項は、通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合は用途・使用方法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。